



第21回 聞き書き 甲子園 の流れ



協力市町村 (地域)の声

「聞き書き甲子園」の開催は、各市町村の農林水産課をはじめ、生涯学習課、地域振興課等にご協力をいただいています。また、地域団体と連携し、ご協力いただいた地域もあります。

● 第18回受け入れ地域 (12地域) ● 第20回受け入れ地域 (12地域)
※第19回開催は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止しました。



2021 [令和3年]

5月 協力市町村(地域)を公募
応募書類を提出ください。
10月末までに採択結果を通知します。

11月以降 高校生が取材する「名人」を推薦
地域の「名人」※6～8名をご推薦ください。
※推薦いただく「名人」は、林業、水産業、工芸など、森・川・海など地域の自然とかかわる仕事に長年従事し、先人からの知恵や技、心を受け継いできた概ね60歳以上の方を想定しています。

2022 [令和4年]

5月中旬 推薦いただいた「名人」の人数に応じて
全国の高校生を募集
高校生の募集とあわせて、協力市町村(地域)決定のプレスリリースを行います。

8月中旬 研修会への参加
参加高校生の研修会を開催します。各市町村(地域)担当者は、1泊2日でご参加ください。「聞き書き」する高校生と「名人」のマッチング等を行います。

8月下旬 高校生による「聞き書き」取材のサポート
「名人」の取材は、原則として高校生が一人で行います。取材日は、事前にお知らせしますので、必要に応じてサポートをお願いいたします。

高校生の聞き書きと作品づくりの期間

12月下旬 「聞き書き作品」の内容を確認
「作品集」を製作するにあたり、高校生が提出した作品内容をご確認いただけます。

2023 [令和5年]

3月下旬 フォーラム(成果発表会)への参加
優秀作品には大臣賞等を授与します。参加高校生は、取材した地域ごとに成果発表を行います。当日は「名人」の代表者数名もご招待し、登壇いただけます。各市町村(地域)の皆さまも、当日、ご参加ください。

4月中旬 「聞き書き作品集」を配布
参加した高校生のほか、関係機関等に「聞き書き作品集」を配布します。各市町村(地域)には、「名人」の人数分プラス10冊を贈呈させていただきます。また、作品データをお渡しいたしますので、広報等にご活用ください。



5月 協力市町村(地域)による地域発表会の開催(任意)
12月 市町村(地域)単位の地域発表会の開催をご検討ください。開催にかかる費用の一部は実行委員会が補助します。

新潟県柏崎市

「聞き書き」は、それぞれの作品ができる以上の成果がありました。高校生の純粋でまっすぐな質問は名人の心の奥に届きます。名人は深く自らの心の中にもぐり、答えを探します。名人は、「聞き書き」を通じて人生の棚卸をしているようでした。生きてきた道を振り返る名人の顔はとても穏やかです。そのような名人の姿を見ることで、高校生もまた自分の人生を深く考えるきっかけとなりました。参加したことが進路を決めるきっかけとなった高校生もいました。
(新潟県柏崎市市民活動支援課・特定非営利活動法人 aisa)

宮崎県都城市

都城市立図書館は、全国の聞き書き作品を収集していく方針の下、「聞き書きコーナー」をつくっています。図書館の運営理念は「ひとりひとりが《だいたいなもの》をみつめていくために」としてありますが、「聞き書き甲子園」はまさに名人たちの仕事や暮らしの中から《だいたいなもの》をみつめていく機会になったのだと思います。高校生に連れられて名人ご夫妻も図書館にいらしゃいました。ひとびともつなげていく素敵な取り組みです。
(宮崎県都城市生涯学習課・都城市立図書館)

徳島県神山町

名人から、孫のような高校生と話すことができ楽しかったという声を聞いて、「聞き書き」の受け入れをして良かったと感じています。過去に「聞き書き」を経験したことがある町民からは、他にも多くいる町内の名人の「聞き書き」をしたいとの申し出があるなど広がりが出てきています。今後も地域の高校生や大人が参加して「聞き書き」を続けることができると考えています。
(徳島県神山町教育委員会)

大分県国東半島・宇佐地域

「クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環」は、平成25年に世界農業遺産に認定されました。この地域の営みを未来に伝える取り組みの一つとして、農林水産業に真摯に向き合う人々の姿を高校生に知ってほしいと考え、地元の高中生による「聞き書き」の活動を続けています。今回は全国の高校生が名人の知恵や技術のみならず、それぞれの想いをも受け止めてくれたに違いないと、彼らの今後に期待しています。
(大分県農林水産企画課 世界農業遺産推進班)

自然と共に暮らしている名人は、とてもかっよくて、楽しそうで、私の憧れです。温かい笑顔で「北海道の孫じゃ」と言ってもらえたことは一生の宝物です。
(北海道・立命館慶祥高等学校2年)

「聞き書き」には、たくさんの素敵な出会いがありました。もしも参加していなかったらそれらに出会うことなく、一生を終えていたと思います。聞き書きを通して、日本は私が思っているよりもずっと広くて、私の知らない世界がたくさんあることに気づかされました。
(兵庫県・神戸女学院高等学校1年)

おそらく参加しなければ一生経験しなかったであろう海の名人との1対1の対話は、これまでスマホのなかで凝り固まっていた私の世界を、大きく押し広げてくれたように感じました。
(宮城県・聖和学園高等学校2年)

現在、私は高校で森林や林業について学んでいます。今回、名人と出会えたことで、知識や技術の向上はもちろん、新たな価値観や考え方を学び、その生きざまから私自身の生き方について考えることができました。尊敬できる名人に出会えたことは、これからの人生の大きな財産です。
(熊本県立南稜高等学校2年)

地域創生については、本では理解してはいたのですが、そこにどんな人がいて、地方はどう動いているのかを考えたことがありませんでした。名人の想い、地域への愛。結局、カタチではなく、人なんだと強く気づくことができました。
(大阪府・大阪星光学院高等学校2年)

